

# 全部署の作業が効率化

## リーズナブルな運用コストも評価

トランプ、カルタ、トレーディングカードなどの加工を得意とする(株)田中紙工(東京都板橋区、田中真文社長)は2013年10月より、ピー・エス・シー(株)の「製本管理システム」を運用しており、見積もり、受注管理、作業指示書などに活用することで業務効率化に役立てている。同社は以前も一般の販売管理ソフトを使用していたが、製本業界向けで、さらに自社用にカスタマイズされたシステムを導入したことで、営業、現場、業務のすべての部署において作業の効率化を実現している。

### 田中紙工

長は「最初に使用したシステムは製本業界向けのシステムであったが、中綴じや無線綴じの製本会社向けに導入経緯について振り返る。

同社の創業は昭和37年。長年にわたり培われた高精度な断ちと抜きなどの「総合デジタル加工技術」を誇る「技と匠の集団」である一方、2013年秋からは、Webとデジタル印刷を融合させ

綴じや無線綴じの製本会社向けに導入したシステムについて、営業部長の佐藤走矢氏は「製本業界に詳しい会社でも「社外には見せられ

た「オンデマンドトランプ.com」を開設するなど、「総合デジタル加工技術」として製本業界の先駆者走っている。

「全日本製本工業組合」で、業務総務課長の堀谷久美子氏は、「サーバシステムを有効に活用しながら製本業界の先駆者走っていく考えだ。

3年秋からは、Webとデジタル印刷を融合させ

このような同社であるため、受注管理などを手書きのアナログではなく、パソコンを使用してデータを管理しようと取組みはじめたのも10年ほど前とほやい。田中社

一般の販売管理ソフトを使用していたが、製本業界向けではないため、カスタマイズに莫大な費用がかかる上に、使い勝手も悪かった。そこで、製本業界への導入実績が豊富

また、使い勝手について「社外には見せられない」と話しており、営業の仕事に大きく生かしている

顧客を待たすことなくその場で対応できるように、留守を守る人間として非常に心強いシステム。これにより、顧客からの信頼もさらに良くなったと感じている」と話している。

シリーズ ユーザー企業ルポ

# 攻めへの選択



田中 社長

あるためカスタマイズの要望も伝えやすいピー・エス・シーさんの「製本管理システム」を導入



全社で情報を共有し、担当営業が不在時でも問い合わせ対応が可能に

また、カスタマイズについても「ピー・エス・シーさんに会社まで来てもらうこともなく、遠隔操作で更新が可能。サーバを設置してもらって躍進する同社の取り組みのため、昼休みなどに更に注目したい。

6月に開催される「PHOTO NEXT 2015」では、昨年大好評であった新製品の「フォトカード」を展示するという同社。今後も「総合デジタル加工業」として躍進する同社の取り組みに注目したい。

が開発したシステムであるため、工程ごとの見積もりなども細かく出すことができ、顧客を説得しやすくなった。また、申し込みの項目を書き込むペースを多く作ってもらっているため、この仕事はどんな注意点があっても、何時間ほどでできた仕事なのかまで記録できるため、リピート時は納期についても記録を元に説明することができる」と話しており、営業の仕事に大きく生かしている

さらに、社内にいる女性の事務員も、同システムの導入には様々なメリットを感じているように、業務総務課長の堀谷久美子氏は、「サーバシステムを有効に活用しながら製本業界の先駆者走っていく考えだ。

「全日本製本工業組合」で、業務総務課長の堀谷久美子氏は、「サーバシステムを有効に活用しながら製本業界の先駆者走っていく考えだ。

6月に開催される「PHOTO NEXT 2015」では、昨年大好評であった新製品の「フォトカード」を展示するという同社。今後も「総合デジタル加工業」として躍進する同社の取り組みに注目したい。